

FIREBOX CLOUD



パブリッククラウドでウォッチガードのセキュリティソリューションが利用可能に

今日、企業はサービスをオンプレミスサーバからクラウドに移行し始めています。例えば、メールサーバ、Webサーバ、CRMシステム、ファイルストレージなどがクラウドサービスに移行されています。このように、機密データが大量にクラウドに移行されており、セキュリティの重要性がさらに増えています。ウォッチガードの Firebox Cloud により、ネットワーク管理者は、パブリッククラウド環境で稼働しているサーバにセキュリティ機能を拡張し、運用することが可能になります。

クラウド自体のセキュリティは、クラウドサービスプロバイダの責任範囲ですが、クラウドへ、またはクラウドから送受信される機密データの保護に関しては、ユーザが責任を持つ必要があります。このような責任共有モデルの下では、管理者がデータの保護やサイバー犯罪から逃れるためのあらゆる対策を講じなければなりません。ウォッチガードの Firebox Cloud により、ウォッチガードの先進の統合セキュリティアプライアンスである Firebox® の各種セキュリティ機能をパブリッククラウド環境に適用することが可能です。Firebox Cloud は迅速かつ容易に実装することが可能であり、パブリッククラウドのサーバをボットネット、クロスサイトスクリプティング、SQL インジェクション攻撃、およびその他の不正侵入などの攻撃から保護することができます。

クラウド環境に最適なソリューション

ウォッチガードの Firebox Cloud は、各種のクラウド環境での運用に特化して設計されており、効率的で一貫性のある UI (ユーザインターフェース) を提供しています。また、Firebox Cloud は、ウォッチガード製品間の VPN トンネルにより、パブリッククラウドへのセキュアな接続を確立するためのプロセスを簡素化します。

ウォッチガードのセキュリティ機能を拡張

中堅中小企業や分散型エンタープライズにてインフラの一部をクラウド環境で運用している場合、Firebox Cloud を活用してセキュリティの適用範囲を拡張することで、構成や保守を効率化することが可能です。また、Firebox Cloud を Firebox の物理アプライアンスと併用することで、仮想プライベートクラウド (VPC) を保護する上で必要となる専用の製品が不要になります。

ビッグデータを可視化

ウォッチガードの Firebox Cloud は、ウォッチガードの統合セキュリティアプライアンスのユーザに標準提供される、クラウド対応のネットワークセキュリティ可視化ソリューション「WatchGuard Dimension」を利用することが可能です。

WatchGuard Dimension では、ビッグデータの可視化、およびレポートツールを提供しており、セキュリティに関する重要な問題や傾向を迅速に特定・抽出し、システム環境全般に適用できる最適なセキュリティポリシーを設定する上で役立つ実用的な知見を得ることが可能になります。

多彩な導入オプション

ウォッチガードでは、Firebox Cloud インスタンスを容易に利用開始いただくために、複数の導入オプションを用意しています。例えば、信頼できるスキルと専門知識を備えたウォッチガードのパートナーより、BYOL (Bring-Your-Own-License) をご購入いただくか、AWS Marketplace から従量課金制 (例: 時間単位での課金) のインスタンスを購入する事も可能です。

機能と特長

- ボットネット、クロスサイトスクリプティング、SQL インジェクション攻撃およびその他の不正侵入などの攻撃から、仮想プライベートクラウド (VPC) を迅速かつ容易に保護
- 各クラウドプラットフォーム専用の一貫した UI で作業を効率化
- パブリッククラウド環境へのセキュアな接続を確立するためのプロセスを簡素化
- ウォッチガードの先進のネットワーク可視化ソリューション「WatchGuard Dimension」による可視化能力の向上
- 最適な導入オプションが選択可能

モデル名	CPU コア数	ユーザ数	TDR Host Sensor数	Firewall (Gbps)	VPN (Gbps)	VPN ユーザ数
Small	2	50	50	2	0.4	50
Medium	4	250	250	4	1.5	600
Large	8	750	250	8	3	6,000
XLarge	16	1,500	250	無制限	無制限	10,000

注: 各スペック値は BYOL サブスクリプションモデルを適用した場合の値となります。

クラウド仕様

サポート環境	Amazon Web Services (AWS)
サブスクリプションモデル	Bring Your Own License, On-Demand

セキュリティ機能

ファイアウォール	Stateful packet inspection, deep packet inspection, proxy firewall
アプリケーションプロキシ	HTTP, HTTPS, SMTP, FTP, DNS, TCP-UDP, POP3
脅威プロテクション	DoS attacks, fragmented packets, blended threats and more
フィルタリングオプション	Browser Safe Search, YouTube for Schools, Google for Business
セキュリティサブスクリプション	APT Blocker, IPS, Gateway AV, WebBlocker, App Control, Data Loss Prevention, Reputation Enabled Defense, Threat Detection and Response

管理機能

ログ、通知機能	WatchGuard, Syslog, SNMP v2/v3
ユーザインターフェイス	Web UI, scriptable CLI
レポート機能	WatchGuard Dimension (100 以上のレポート、エグゼクティブサマリー、可視化ツール)

標準ネットワーク

QoS	8 priority queues, DiffServ, modified strict queuing
IP address assignment	DHCP (client)
NAT	Static, dynamic, 1:1, IPSec traversal
その他機能	Static routing, port Independence

VPN / 認証

暗号	DES, 3DES, AES 128-, 192-, 256-bit
IPSec	SHA-2, IKE pre-shared key, 3rd party cert
シングルサインオン	Windows, Mac OS X, mobile operating systems, RADIUS
認証	RADIUS, LDAP, Windows Active Directory, RSA SecurID, internal database

多層防御による強力なセキュリティ

ウォッチガードのソリューションは、独自のプラットフォーム上に高性能、高速、そして効果的なセキュリティ機能で構成されており、複合型マルウェア、ランサムウェア、ボットネット、トロイの木馬型マルウェア、ウイルス、ドライブバイダウンロード、情報漏えい、フィッシングなどあらゆる攻撃に対する、きめ細かい防御機能を提供します。

サービス	TOTAL SECURITY SUITE	Basic Security Suite
IPS(不正侵入防止サービス)	✓	✓
アプリケーションコントロール	✓	✓
WebBlocker (URLフィルタリング)	✓	✓
GAV (ゲートウェイアンチウイルス)	✓	✓
Reputation Enabled Defense (RED)	✓	✓
APT Blocker(標的型攻撃対策)	✓	
Data Loss Prevention (情報漏えい防止)	✓	
Threat Detection and Response (脅威の検知とレスポンス)	✓	
サポート	ゴールド (24x7)	スタンダード (24x7)

一つのパッケージで、トータルセキュリティを実現

ウォッチガードの柔軟性を備えた統合型プラットフォームにより、ビジネスネットワークの要件に合致したセキュリティコンポーネントを容易に揃えることができます。セキュリティの基本機能から利用開始することも、あるいは最初から包括的なネットワーク防御機能を実装することも可能であり、各企業の要件に沿ったセキュリティサービスを提供することができます。

専門のガイダンスとサポートを提供

Firebox Cloud 各モデルには、標準で初期サポートサブスクリプションが提供されています。基本セキュリティスイートの標準サポートでは、24 時間 365 日のテクニカルサポートおよびソフトウェアアップデートが提供されます。また、ウォッチガードの Total Security Suite (トータルセキュリティスイート) にはゴールドレベルサポートが提供されます。

詳細はウォッチガードまたは、販売代理店にお問合せ頂くか、www.watchguard.co.jp をご覧下さい。